

(様式1)

令和3年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	「一人一人の可能性を最大限に伸ばし、明るく柔軟性があり、進んで学び、思いやりのある児童生徒をはぐくむ」
------------	---

(2) 現状と課題	本校には、重度心身障害や精神疾患等を有する児童生徒が在籍しており、病気や障害、学習習熟度等、非常に多様である。これらを踏まえた教育課程を設定するとともに、個々の教育的ニーズに適切に対応するための教員の専門性の向上に取り組んでいる。児童生徒の効果的な指導に向けて、隣接する青森病院をはじめ医療機関との連携を密にするなど、良好な関係を図る必要がある。これらのことから、1～4の項目を重点目標とした。
-----------	---

(3) 重点目標	1 健康・安全管理、防災管理及び危機管理の充実
	2 授業の充実及び学習の保障
	3 教職員の専門性の向上
	4 保護者、関係機関、地域との連携

(4) 結果の公表	アンケート結果と改善への取り組みについて保護者に文書を配付した。また、地域住民に向け、学校評価結果を学校ホームページに掲載する。
-----------	--

学校整理番号	特18
学 校 名	青森県立浪岡養護学校
対象障害種別	視覚・聴覚・知的・肢体・ 病弱

自己評価実施日	令和 4年 1月 24日(月)
学校関係者評価実施日	令和 4年 2月 15日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員 隣接病院長、障害者支援施設長、地域交流センター館長、 近隣保育園長、PTA副会長 学校運営協議会委員 地域交流センター支配人、就労移行支援事業所施設長、 隣接病院保護者会長、PTA会長 計9名

自 己 評 価					学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	健康・安全管理、防災管理及び危機管理の充実	①児童生徒の体調管理 ②感染症等対応の定期的な確認 ③基本的な感染予防の徹底 ④災害時や緊急児の安全確保	児童生徒の健康管理、災害時の対応、新型コロナウイルス感染症への日常的な危機管理意識の向上が見られた。	A	特になし	・児童生徒の健康管理を今後も継続して進める。 ・危機管理マニュアルを基に、災害に備えた避難訓練等を計画的に実施する。
2	授業の充実及び学習の保障	①児童生徒の実態及び発達課題に適した教育内容の設定 ②ICT機器、支援機器等を活用した効果的な指導の工夫 ③障害に応じた学習の保障 ④児童生徒についての情報の共有と対応の共通理解	ICT機器や支援機器の活用により、児童生徒の実態や課題に合わせた授業展開ができた。病棟生の授業については、年度途中から登校が始まり、それ以前のオンライン授業も含め、そのときの状況に合わせて学習を進めた。	B	特になし	・ICT機器を活用した授業実践を継続して進める。 ・オンラインによる授業において、児童生徒の実態に応じた適切な授業展開を進める。
3	教職員の専門性の向上	①授業力向上を目指した教員相互の学び合い（OJT等の活用） ②計画的かつ主体的な校内学習会の設定 ③実際の授業に生きた実践的な研究、授業力の向上	校内研修や校外研修をとおして、また、OJTを活用して、学校課題、児童生徒に対応した研修を進めた。	A	特になし	・教職員の研修の充実を図り、研修で得られた成果を教職員間で共有し、指導に生かしていく。 ・研修会、校内研究の計画的な運用を進める。
4	保護者、関係機関、地域との連携	①児童生徒のニーズに応じた指導、支援のための連携 ②青森病院及び他の医療機関との連携 ③学校運営協議会での協議による地域との連携	今年度から導入されたコミュニティ・スクールは、模索しながらこれまで取り組んできた活動を中心に据えて展開した。地域との連携、地域への情報発信は十分とはいえず、今後の課題である。	B	外部人材や地域資源を活用した実践の取組実施状況について説明した。今年度の状況の中で、制約も多かったが活動を中止と判断せず、可能な限り教育活動の一部をオンラインで実施した。	・保護者への情報提供を丁寧に行う。 ・隣接病院、関係機関との情報交換を密にし、児童生徒の学習保障につなげる。 ・学校運営協議会での熟議を重ね、地域との連携の在り方を検討する。

(11) 総括	自己評価（教職員）、保護者アンケート、児童生徒アンケートともいずれも「達成」「概ね達成」が90%以上で高い評価結果を得た。今年度の重点目標については達成したと判断できる。ただ、項目を相対的にみると「授業の充実及び学習の保障」と「保護者、関係機関、地域との連携」の評価がやや低い傾向があり、次年度の課題、検討事項といえる。今後、教職員が学校課題に対して、それぞれの役割をより理解、意識して取り組むことが大切であると考える。
---------	--